平成23年度　シラバス	学年・期間・区分	2年次・通年・A群
	対象学科・専攻	機械・電気電子・電子制御・情報・土木工学科
日本史 (Japanese History)	担当教員	有馬　純之(Arima, Sumiyuki)
	教員室	非常勤講師控室（tel. 2167）
	E-Mail	
教育形態 ／ 単位の種別 ／ 単位数	**講義／履修単位／１単位**	
週あたりの学習時間と回数	**授業（50分）×30回**	

〔本科目の目標〕
歴史学習を通して、先人の業績を正しく評価し、いま自分がどこに位置し、何をなすべきかを考える。日本人として、わが国の歴史に対する的確な視座と誇りをもち、バランスのとれた国際感覚を身につける。

〔本科目の位置付け〕
世界史および地理の予備知識が必要である。また、本科目は社会概説Ｉ（現代史）との関連がある。

〔学習上の留意点〕
教科書の配列どおり学習することを基本としながらも、本科目の目標をふまえ、テーマを精選する。時事問題も適宜扱っていくため、配布する資料等を有効に利用する。

〔授業の内容〕

授　　業　　項　　目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1．古代国家の形成（1）	2	更新世の日本・縄文文化について理解することができる。	1、教科書を読んでくる 2、教科書を利用して、予習プリントを完成する。 3、テスト前はまとめプリントを完成する。
2．古代国家の形成（2）	2	弥生文化と小国家の形成、大和政権と古墳文化について理解することができる。	
3．古代国家の形成（3）	3	推古朝・奈良時代・平安初期の政治、飛鳥・白鳳・天平・平安初期の各文化について理解することができる。	
--- 前学期中間試験 ---		授業項目１～３について達成度を確認する。	
4．古代国家の形成（4）	2	貴族文化と摂関政治・国風文化、荘園と武士団の成長・院政と平氏の台頭について理解することができる。	
5．武家社会の形成（1）	3	鎌倉幕府の成立・執権政治の展開、元寇と御家人社会の変質・鎌倉文化、室町幕府の成立・倭寇と東アジアの交易について理解することができる。	
6．武家社会の形成（2）	2	下剋上の社会と戦国大名・室町文化について理解することができる。	
--- 前学期末試験 ---		授業項目１～６ついて達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	1		
7．近世社会の形成（1）	3	ヨーロッパ人の渡来、織豊政権と桃山文化について理解することができる。	
8．近世社会の形成（2）	4	江戸幕府と諸藩、身分制度の確立・鎖国、幕府政治の進展・経済と産業の発達について理解することができる。	
--- 後学期中間試験 ---			
9．近世社会の形成（3）	4	学問の興隆と元禄文化、幕藩体制の動揺と対外問題の発生について理解することができる。	
10. 近世社会の形成（4）	3	新しい学問の形成と化政文化について理解することができる。	
--- 後学期末試験 ---		授業項目 2～7 について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	1		

〔教科書〕新選日本史B（東京書籍）
〔参考書・補助教材〕新選図説世界史（東京書籍）

〔成績評価の基準〕

〔本科（準学士課程）の学習教育目標との関連〕1-a, 4-b
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕
〔JABEEとの関連〕

メモ欄